

# 皆様の声を今後のまちづくりに反映



懇談会であいさつする斎藤町長（東小体育館）

各地区に町長以下4役と課・局長らが出向いて意見交換を行う町政地区別懇談会が4月21日、梅原集落センターを皮切りに、最終日の6月6日までに、各公民館など8会場で開かれました。今年度は、従来より実施してきた各課の事業概要説明に代え、各地区からの申請に基づき、希望のあったテーマについて、担当課長らが説明した後、町政全般に関して意見交換が行われました。懇談会では、さまざまなご意見・ご要望等をいただきましたので、皆様の生の声を今後の町政に反映していく計画です。そこで今月号では、前半4会場でのテーマや意見交換の主な内容をご紹介します。なお、スペースの関係で内容は簡略化させていただきます。

## 町長あいさつ

平成15年度一般会計予算は、47億5千万円と定め、前年度比で27・3%の増額となり、県内で最も高い伸び率でした。また、特別会計、事業会計を含めた総予算は、85億2、573万8千円と定め、21・6%の増額となりました。

昨年に引き続き続く主な事業では、新しいまちづくりの指針となる第5次総合計画や都市計画マスタープランの策定事業をはじめ4年目を迎えた公共下水道事業では、明和水質浄化センター建設工事、さらに農業集落排水事業の推進、昭和橋の架け替え工事、国道122号線渋滞緩和のバイパス建設工事の早期実現、上水道では石綿セメ

ント管更新事業など残された重点課題に積極的に取り組んでまいりたいと思います。

次に新規事業では、役場庁舎建設に向けての敷地造成事業をはじめ町制施行5周年記念事業や環境に与える負荷の削減を目指すISO14001の認証取得事業および認証取得支援、また行政・事業者・町民が一体となって取り組む環境基本計画の策定事業、あるいは総合行政ネットワークシステムの接続整備事業や障害者が自由に選択サービスが受けられる施設訓練支援事業、農家台帳の電算化等に向けた農地情報管理システム事業、出荷野菜の残留農薬検査事業などを推進してまいりたいと思います。



意見を述べる参加者（新里集会所）

町政地区別懇談会希望テーマ  
（4月21日から5月16日までの4会場）

- 農業集落排水事業
- 税の仕組み
- 農業を取り巻く環境
- 役場新庁舎建設
- 駅周辺整備と下水道事業の推進
- 老人の福利厚生施設等の整備拡充

今後、ますます地方分権が進む中、地域にあったまちづくりを進めるため、皆さんから建設的な意見を寄せていただき、今後の行政運営に反映していきたいと考えています。